

人材育成学会・第46回研究会のお知らせ

「組織において、インクルージョンは、どのように進められ、活かされているのか」

近年、ダイバーシティに加えて、インクルージョンという言葉がよく聞かれるようになりました。

このインクルージョンの重要性は注目されているものの、さまざまな領域において重要性が指摘されていることもあり、その定義と効果には、いまだ曖昧なところがあると言われていています。そのような中でも近年は研究が進んでおり、コロラド州立大学のショア教授らの論文では、社員が「帰属感と自分らしさの発揮」(2011; 船越邦訳 2021)の両方をその集団や組織で感じることができていること、と定義しています。一方で、インクルージョンは不可視なため、把握しづらいものとされており、組織や個人における捉え方、組織における具体的な促進方法などは、いまだ活発な検討が続いている状況です。

そこで、本シンポジウムでは、「組織において、インクルージョンは、どのように進められ、活かされているのか」について考え、これを進め、組織において活かしていくための考え方について、議論したいと考えております。

シンポジストとして、昨年、「インクルージョン・マネジメント」(白桃書房)を上梓された大阪女学院大学の船越多枝氏、同書において好事例として取り上げられている株式会社プロアシストの商品事業部で活躍中の元成美(うおん・そんみ)氏、公益財団法人 21 世紀職業財団において、ダイバーシティ、インクルージョン研究のかたわら、企業のコンサルティングにもあたっている同財団主任研究員山谷真名氏にご登壇いただき、インクルージョン・マネジメントについての定義や効果などについて概説いただいたうえで、インクルージョン・マネジメントを進めている企業の実例、インクルージョンをめぐる企業の状況などについてお話しいただき、それをもとに、インクルージョンを進め、組織において活かしていくための考え方などについて議論します。

今回も ZOOM によるオンライン方式での研究会となります。シンポジストの報告をもとに、参加者も交えて話し合いをすることで、インクルージョンについて理解が深まればと考えています。多数の会員の方の参加をお待ちしております。

【シンポジスト】(五十音順)

船越 多枝氏 大阪女学院大学 国際・英語学部准教授
元 成美(うおん そんみ)氏 株式会社プロアシスト 商品事業部
山谷 真名氏 公益財団法人 21 世紀職業財団主任研究員

【モデレーター】

浅野 浩美 事業創造大学院大学事業創造研究科 教授

事 項

- 日 時 2022 年 9 月 23 日(金・祝) 13:30～ 16:30
- 研究会の方法:ZOOM によるオンライン方式
- 研究会プログラム
 - 13:10～ ミーティングルームへの入場
 - 13:30～13:35 開会のご挨拶・プログラム説明
 - 13:35～14:10 シンポジストからの報告①
 - 14:10～14:40 シンポジストからの報告②
 - 14:40～14:50 休憩
 - 14:50～15:25 シンポジストからの報告③
 - 15:25～16:25 シンポジスト間の討論、参加者を交えた質疑応答・討論
 - 16:25～16:30 終了の挨拶

- 参加費:今回は会員のみ参加とし、参加費は無料とします。
- 申込方法:Eメールに次の事項を記載し、下記の研究会事務局にお送りください。
 - ①お名前 ②ご所属 ③会員番号 (会費を既にお支払いいただいております、会員番号が未定の方は「会費支払済」とご記載ください)

- 参加通知:研究会が開催されます ZOOM のミーティングルームへのアクセス権限は、期限内に参加申込された方のみ付与されます。ミーティング参加の ID およびパスワードは、Eメールでお知らせします。
- 受講票:上記のミーティング参加の ID およびパスワードの発行をもって受講票といたします。
- 申込み期間:2022 年 8 月 22 日(月)～2022 年 9 月 19 日(月)
- 送付先: 〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15
学校法人産業能率大学内 人材育成学会 研究会事務局宛
JAHRD@hj.sanno.ac.jp / 03-5758-5501(Fax)